

## 54 文化・生涯学習・スポーツの振興

### (1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

#### ●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

#### ●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。

- ・真夏の音楽会 vol.3 大谷康子と楽しむ五大陸名曲の旅
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬薪能
- ・Nerima ユニバーサルコンサート  
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

#### ●映像∞文化施策の推進

区では昭和初期から現在に至るまで実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っている。こうした状況を背景に、区と映像のつながりや映画の魅力を伝える様々な事業を実施した。

##### 1 映像∞文化のまち構想の策定

新型コロナウイルス感染症の影響により、策定を令和3年度に延期した。

##### 2 (仮称) ねりま映画フェスの開催

映像文化のまち構想のキックオフイベントとして開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度以降に開催を延期した。

##### 3 アニメと教育の連携事業の実施

区内の小・中学校において、アニメ制作等の体験授業を実施している。令和2年度は8校延べ10授業を実施した。

##### 4 映像文化情報の発信

###### (1) 「ねりま映画」サロンの実施

自宅や区内各地域で文化芸術を楽しめるよう区ゆかりの俳優による対談動画をオンライン配信した。

第1弾：佐久間良子氏 × 毒蝮三太夫氏

第2弾：千葉真一氏 × 毒蝮三太夫氏 × 高平哲郎氏

###### (2) 「映像∞文化のまち ねりま PROLOGUE」の構築・運営

区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信するサイトを開設し、上記対談動画を配信した。



〔サイトメインビジュアル〕

###### (3) 練馬アニメーションサイトの運営

区とアニメのつながりや練馬区公式キャラクターねり丸の情報を区内外に発信している。

#### ●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、24年4月に公益財団法人に移行し、28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎えた。

石神井公園ふるさと文化館、美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術の発信に努めている。

##### 1 区民文化の向上および振興のための事業の実施

###### (1) 地域活動事業 (6事業)

###### ① アトリウムミニステージ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、「ねりぶんアフタヌーン・ミニコンサート」として実施

###### ② まちなかコンサート

###### ③ 親子で楽しむミュージックキャラバン

###### ④ 演奏家等派遣事業

###### ⑤ 演奏家等あっせん事業

###### ⑥ 小学校狂言師派遣事業

###### (2) 練馬区文化振興協会友の会事業

会員数 834人 (令和2年度末現在)

##### 2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業の実施

###### (1) 区民参加事業 (3事業)

###### ① みんなであそぼ! 森と劇場のサーカスフェスタ

###### ② ねりパフォ 2021

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ やってみようプロジェクト

若者演劇ワークショップ

(2) 人材育成活用事業 (5 事業)

① 練馬区演奏家協会コンサート

② ワンコイン・コンサート

③ 練馬区演奏家協会事務局運営

④ 練馬音楽コンクール 2020・受賞記念コンサート

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤ 練馬区ジュニア・オーケストラ

(3) 連携支援事業 (5 事業)

① 武蔵野音楽大学連携事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 日本大学芸術学部連携事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ 練馬交響楽団活動支援事業

④ 舞台芸術支援事業

⑤ 文化団体活動支援事業

(4) 情報発信事業

### ●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和 58 年 4 月に開館した。

令和 2 年度は指定管理業務として音楽、伝統芸能などの公演事業を実施している。(27 事業)

① 伝統芸能事業 3 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1 事業を延期、2 事業を中止した。

② 音楽事業 9 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 事業を延期、2 事業を中止した。

③ こどもみらい事業 3 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1 事業を中止し、1 事業の事業内容を変更した。

④ 演劇事業 3 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1 事業を延期した。

⑤ 映画事業 2 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2 事業を中止した。

⑥ 演芸事業 3 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 事業のうち 1 事業を中止した。

⑦ その他 4 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 事業を中止した。

### 【練馬文化センターの利用状況】

令和 2 年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
大ホール	102	34,697
小ホール	153	24,052
ギャラリー	63	2,271
リハーサル室	819	10,149
集会室	346	3,738
計	1,483	74,907

※：延べ利用団体件数

### ●大泉学園ホール (大泉学園ゆめりあホール)

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ 1」内に、14 年 2 月に開館した。

令和 2 年度は指定管理業務として音楽、演芸等の公演事業を実施している。(4 事業)

① 音楽事業 1 事業

② 映画事業 1 事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を延期した。

③ 演芸事業 2 事業

### 【大泉学園ホールの利用状況】

令和 2 年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
ホール	234	14,419
ギャラリー	35	1,370
計	269	15,789

※：延べ利用団体件数

### ●練馬区立美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和 60 年 10 月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備については、秋元雄史美術館長を委員長とし、地元関係者や学識経験者などで構成された基本構想策定検討委員会の提言をもとに、令和 3 年度の基本構想策定に向けて検討を進めている。

#### 1 展示事業

年間 4～6 回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「練馬区美術家協会展」の開催を中止した。

## 〔企画展〕 令和2年度

展覧会名	会期	観覧者数 (人)
日本・ポーランド国交樹立 100周年記念 シヨパンー200年の肖像 (※)	6月2日～6月 28日 (24日間)	10,383
練馬区立美術館開館35周年 記念 Re construction 再構築	【プレ展示】 7月8日～8月 2日 (23日間)	1,248
	【本展示】 8月9日～9月 27日 (43日間)	4,134
式場隆三郎「脳室反射鏡」	10月11日～12 月6日 (49日間)	4,663
練馬区立美術館開館35周年 記念展 35年の35点	12月12日～2月 14日 (50日間)	4,990
電線絵画展 ー小林清親から山口晃までー	2月28日～4月 18日 (43日間)	14,099

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期を短縮して開催した。

## 2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象にした学芸員による作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は一部の事業のみ実施した。

## 3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。令和2年度末の全所蔵数（寄託含む）は7,587点である。

## 4 美術の森緑地

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

## ●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター92名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。令和2年度は、分室を含め延べ159,477人が来館した。

## 1 展示事業

## (1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示のほか、期間限定の特集展示などを行っている。

## (2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を令和2年度は2回開催した。

## 〔特別展〕 令和2年度

展覧会名	会期	観覧者数 (人)
大根展 ～練馬大根の今昔～ (仮称) (※)	9月12日 ～11月1日 (44日間)	—
昭和のこどもたち	11月28日 ～1月16日 (37日間)	4,619
こわい？こわくない？ わにわにの絵本展ー石神井公園 生まれのワニのおはなしー	1月23日 ～3月21日 (50日間)	10,678

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

## (3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を令和2年度は1回開催した。

## 〔企画展〕 令和2年度

展覧会名	会期	観覧者数 (人)
スポーツの祭典1964 ーオリンピックと練馬ー (※)	4月18日～6月 10日 (46日間)	—
75年前に戦争があった ー資料が語る戦時下の暮らしー	6月20日～8月 15日 (49日間)	4,590

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

## (4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

## 2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業などを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

## 3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

## 4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会

議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

### ●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、24年4月に名称を「生涯学習センター」と変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設として整備した。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は区民の自主的な活動場所として利用されている。

#### 1 地域活動を行う人材の基盤づくり

##### (1) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、「つながるカレッジねりま」または「練馬En カレッジ」の受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。令和2年度の履修生は10人だった。

#### 2 生涯学習団体等の支援

##### (1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。令和2年度末現在、1,456団体が区に届出されている。

##### (2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

#### 3 生涯学習情報の提供

##### (1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。令和2年度末現在で、60講座が登録されている。

##### (2) 学びと文化の情報サイト（あ・そ・ぶサイト）

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

### 〔各種事業実施状況〕

令和2年度

事業名	実施状況	
縁ジョイ倶楽部	6講座 延べ406人受講 講演会1回 82人受講	
盆踊り講習会	実施なし(※)	
練馬児童合唱団	在団生 46人 定期演奏会 実施なし(※)	
サークル文化祭	舞台発表会	実施なし(※)
	作品展	実施なし(※)
区民文化祭	参加団体 4団体 2,257人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ4,054人受講	
	スクーリング 3回 延べ86人受講	
	書初め展 1回 書道122点 俳句140句 出品	
公開講座	2大学 延べ173人受講	
区民将棋大会	実施なし(※)	

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

### 〔生涯学習センターの利用状況〕

令和2年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
ホール	185	12,584
第一会議室	374	2,466
第二会議室	348	2,190
第一教室	545	6,729
第二教室	374	2,945
第三教室	397	3,017
和室(大)	408	2,413
和室(中)	295	1,796
和室(小)	345	1,379
美術工芸室	318	2,518
視聴覚室	424	5,304
調理実習室	37	231
陶芸室	163	460
保育室	120	296
合計	4,333	44,328

〔生涯学習センター分館の利用状況〕 令和2年度

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
講座室 1	141	1,025
講座室 2	91	648
講座室 3	193	1,479
講座室 4	243	2,301
講座室 5	241	3,387
講座室 6	96	653
講座室 7	44	310
講座室 8	148	1,742
講座室 9	131	1,928
和室	63	412
料理室	37	432
工作室	205	1,927
美術室	315	1,785
音楽室 1	556	5,315
音楽室 2	419	2,367
陶芸室	480	3,636
保育室	23	223
合計	3,426	29,570

注：学習室利用人数…4,506人

### ●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

〔向山庭園の利用状況〕 令和2年度

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
茶室	439	1,531
和室 (第1)	468	1,594
和室 (第2)	561	1,889
和室 (第3)	329	2,157
多目的室	460	1,837
日本庭園	1	3
庭園見学者	—	62,090
計	2,258	71,101

### ●学習の機会の充実

現代社会のさまざまな人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全5回中3回を中止した。

- ・地域ふれあい講座 (2回実施、15人参加)

### ●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に、区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。

- ・校庭開放
- ・学校図書館開放
- ・教室開放
- ・学校体育施設の開放
- ・学校施設の一般利用

なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開放を休止した時期がある。ただし、校庭開放および図書開放については、当該校の児童は利用できることとした。

### ●学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

## (2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

### ●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、25年6月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

#### 1 施設の充実

##### (1) 図書館 (12館)

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稻荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

##### (2) 分室 (1分室)

南大泉図書館分室 (こどもと本のひろば)

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

### (3) 図書館資料受取窓口

高野台（生涯学習センター分館内）、豊玉（豊玉リサイクルセンター内）、石神井公園高架下、大泉学園（リズモ大泉学園4階）、北町（北町地区区民館内）、上石神井（上石神井南地域集会所内）に設置している。

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

## 2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（令和元年度実績）」によると、図書館資料の個人貸出点数および、個人予約点数は23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催している。

## 3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」を令和2年3月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

### (1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業  
赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す事業  
令和2年度 3,348セット配付
- ・本の探検ラリー  
クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

### (2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成  
令和2年度 14団体 689冊

## 〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 令和2年度

催し物名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	652回	6,731
おたのしみ会	20回	513
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	—	—
本の探検ラリー（小・中学校開催）	延べ17校	1,244

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月から6月まで催しを中止した。

## 4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理者が運営する館（10館中6館）では、学校支援モデル事業として、以下のような支援を行っている。令和2年度は、区内の小・中学校45校に対して実施した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

また、30年度から3か年計画で順次導入してきた学校図書館蔵書管理システムは、令和2年度に全区立小・中学校への導入が完了した。

## 5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出しするサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

## 〔サービスの状況〕 令和2年度

項目	点数等		
製作録音資料数	153点		
対面朗読実施時間	延べ1,246時間		
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	6,059点		
布の絵本製作数	26点		
	講習会名	実施数（回）	参加者数（人）
	音訳者等養成講習会	13	延べ185
	布の絵本製作講習会	4	延べ41

## 6 図書館情報システム

図書館資料の貸出し・返却・予約などの基本的な業

務を管理するシステムで、年間約600万点の資料貸出しに対応している。

また、利用者の利便性を高めるため資料検索機や家庭用パソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

## 〔予約状況〕

令和2年度

項目	点数等
予約点数（個人）	2,229,185点
うちインターネットからの予約点数（個人）	1,959,339点
予約点数に占めるインターネット予約割合	87.9%

## 〔図書館の利用状況等〕

令和2年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録者数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人予約 点数 (点)	団体予約 点数 (点)	協力予約 点数 (点)
光が丘		39,320	195	503,486	897,536	9,330	4,663	292,656	185	2,820
練馬		26,162	154	314,993	509,581	20,470	531	202,531	10,812	558
石神井		23,155	104	243,204	484,182	9,467	1,190	124,239	4,682	1,252
平和台		15,718	135	200,217	431,207	17,810	561	148,394	6,245	582
大泉		15,668	139	193,538	386,532	19,255	673	120,888	15,033	699
関町		15,393	150	216,083	422,619	11,214	380	167,260	2,616	401
貫井		19,620	70	470,245	497,010	8,273	567	197,835	3,231	584
稲荷山		5,809	85	80,734	151,006	10,349	310	48,039	809	325
小竹		11,114	79	174,241	345,197	9,528	254	144,423	3,044	260
南大泉		8,574	83	145,317	299,422	5,423	187	103,385	2,423	193
南大泉分室		3,385	24	43,650	97,820	1,196	10	30,304	284	11
春日町		11,747	69	252,460	396,949	9,455	344	137,966	4,601	361
南田中		7,069	111	139,507	265,558	6,554	545	89,265	125	280
全館合計		202,734	1,398	2,977,675	5,184,619	138,324	10,215	1,807,185	54,090	8,326
高野台受取窓口		511	—	13,602	38,029	—	—	32,520	—	—
豊玉受取窓口		658	—	20,827	54,750	—	—	48,170	—	—
石神井公園駅受取窓口		3,058	—	66,771	169,959	—	—	147,987	—	—
大泉学園駅受取窓口		4,056	—	51,456	130,973	—	—	111,910	—	—
北町受取窓口		672	—	13,853	35,624	—	—	32,735	—	—
上石神井受取窓口		934	—	18,699	54,684	—	—	48,678	—	—
合計		212,623	1,398	3,162,883	5,668,638	138,324	10,215	2,229,185	54,090	8,326

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月から5月まで休館

## 〔図書館の所蔵資料〕

令和2年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		329,700	14,187	22,594	6,515
練馬		147,260	3,764	11,449	1,172
石神井		217,455	2,989	7,937	—
平和台		152,979	4,378	7,817	—
大泉		223,988	3,552	8,701	—
関町		144,909	5,767	6,820	—
貫井		137,727	4,319	7,468	—
稲荷山		90,098	3,421	4,765	—
小竹		85,419	2,385	8,298	—
南大泉		70,190	2,004	5,132	—
南大泉分室		26,317	227	—	—
春日町		119,004	2,740	9,704	—
南田中		108,304	2,398	6,156	—
合計		1,853,350	52,131	106,841	7,687

## (3) 文化財を保存・活用・継承する

## ●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

## ●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。令和2年度は新規の指定が1件、登

録が1件であった。

(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の226～227ページを参照)



〔令和2年度に指定された  
丸山東遺跡出土の片口土器〕



〔令和2年度に登録された  
鴨下家文書〕

## ●文化財保護のための主な事業

### 1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

令和2年度は遺跡地で工事を行う届出が91件、通知が13件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が97件、発掘調査が2件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

### 2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。令和2年度は10月31日から11月8日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・尾崎遺跡の展示説明会

(10月31日 12人参加)

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

- ・石神井城跡発掘パネル展  
(10月31日から11月8日)
- ・特別公開「小野蘭山墓誌」  
(10月31日から11月8日)

### 3 刊行物の発行

令和2年度はつぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財 (年2回)
- ・埋蔵文化財調査報告 35

### 4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。令和2年度は、修繕8件、新設1件を実施し、総数177件となっている。また、道標は29か所に設置している。

### 5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、防火訓練を中止した。

### 6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の開催を中止した。

## ●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

## ●<sup>おさき</sup>尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。

## (4) スポーツ活動を支援する

### ●スポーツの機会の充実

豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまちを目指し、スポーツ施設を積極的に整備してきた。

これらの施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体との協働により、区民体育大会、練馬こぶしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。



## 〔スポーツ事業〕

令和2年度

区 分		内容および参加人数 (人)	
各種大会	区民体育大会 (※1)	18 種目	9,605
		総合開会式 (※2)	—
	都民大会 (※2)	—	—
	都民生涯スポーツ大会 (※1)	7 種目	113
	城北地区競技会 (※2)	—	—
	少年野球大会	61 チーム	1,024
	女性スポーツ大会 (※2)	—	—
	都民スポレクふれあい大会 (※2)	—	—
野外活動	城西ブロックスポーツ交流大会 (※1)	1 種目	19
	区民歩行会	10 月 25 日 飯能	26
		わんぱくキャンプ (※2)	—
	初心者スポーツ教室 (※1)	15 種目 73 教室	1,829
	夏休み水泳教室 (※2)	—	—
	少年少女スポーツふれあいひろば	2 月 14 日実施	112
	スポーツの日記念行事	10 月 11 日実施 総合体育館ほか 6 会場	4,524

※1：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止

※2：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止

## ●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者等の育成に努めている。

## 1 スポーツ推進委員

スポーツを推進するための連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行い、令和3年4月1日現在、29人のスポーツ推進委員が活動している。

主な活動として、区民歩行会や小学生を対象としたわんぱくキャンプなど、さまざまなイベントを企画・実施している。また、区内スポーツ関係団体が連携して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、障害者スポーツに係る取組も行っている。

## 2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。令和2年度末現在、653人が認定を受けている。

## ●総合型地域スポーツクラブの支援

29年3月に策定された、国の第2期「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の支援を施策の一つとしている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が中心となって運営する

- ・クラブの活動や事業に参加できる
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できるなどを特徴としている。

現在、7つのクラブは区立体育館に活動拠点を設け、会員制による運営を行っている。

## 〔総合型地域スポーツクラブ（SSC）〕

令和2年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	14年8月24日	12,756
NPO法人スポーツコミュニティ桜 (SSC桜台)	14年9月5日	3,033
NPO法人スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	14年12月17日	5,860
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	14年10月4日	17,680
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	14年9月10日	4,131
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	14年8月13日	22,430
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブプラッツ (SSC豊玉・中村)	21年2月21日	12,970

## ●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

令和2年度は、大泉学園町希望が丘公園運動場の多目的運動場を人工芝グラウンドとして整備したほか、光が丘体育館のアリーナ床等改修工事を行った。

令和2年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場5面、少年野球場6面、庭球場29面、多目的運動場6面、競技場1面、多目的広場4か所、スポーツ広場1か所である。

## 〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 令和2年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町 体育館	光が丘体育館 (※)	中村南スポーツ 交流センター
個人利用	27,939	9,482	38,819	40,872	36,125	13,232	22,344
登録団体利用	40,938	18,065	20,593	15,726	13,721	5,769	11,182
連盟・SSC	13,535	2,162	3,718	15,540	10,390	4,534	9,946
大会・事業等	5,882	4,240	2,605	1,278	803	61	590
自主事業	—	—	4,125	2,940	1,990	43	14,096
健康体力相談等	—	—	—	—	—	22	—
トレーニング室	26,373	—	22,565	18,168	18,957	14,160	24,236
合計	114,667	33,949	92,425	94,524	81,986	37,821	82,394

注：①トレーニング室には説明会参加者を含む。

②光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月4・5日および4月11日から5月31日まで休館（トレーニング室は、令和2年3月4日から5月31日まで休室）

※：光が丘体育館は、改修工事のため令和2年10月1日から3年3月31日まで休館

## 〔プールの利用状況〕

(単位：人) 令和2年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール (※)	平和台体育館 温水プール	大泉学園町 体育館温水 プール	光が丘体育館 温水プール (※)	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	25,633	55,594	40,435	32,454	73,945	59,753	38,227
登録団体利用	3,931	1,560	3,045	831	3,068	10,135	—
連盟・SSC	754	3,991	6,831	15	9,107	3,577	—
大会・事業等	1,894	213	670	23	1,138	406	—
自主事業	813	3,682	—	—	3,377	1,859	—
障害者専用コース	460	445	907	211	533	493	—
合計	33,485	65,485	51,888	33,534	91,168	76,223	38,227

注：温水プールは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月5日から5月31日まで休場

※：上石神井体育館温水プールは、改修工事のため令和2年4月1日から9月30日まで休場

※：光が丘体育館温水プールは、改修工事のため令和2年10月1日から3年3月31日まで休場

## 〔屋外施設の利用状況〕

令和2年度

区分	施設名(面)	利用数(人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 19,909
	びくに公園庭球場	2 5,205
	土支田庭球場	7 36,994
	夏の雲公園庭球場	4 37,258
	大泉さくら運動公園運動場(庭球場)	3 16,999
	大泉学園町希望が丘公園運動場(庭球場)	3 22,919
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 43,985
成人 野球場	学田公園野球場	1 9,963
	北大泉野球場(※1)	2 9,597
	東台野球場	2 16,675
少年 野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 24,039
	練馬総合運動場少年野球場	2 24,959
	大泉学園少年野球場	1 10,599
運動場等	練馬総合運動場公園(陸上競技場・多目的広場)	58,126
	大泉運動場	40,179
	大泉さくら運動公園運動場(多目的運動場)	72,045
	大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)(※2)	32,983
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	32,757
	びくに公園多目的広場	25,356
	総合体育館東側多目的広場	484

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月4、5日および4月11日から5月31日まで休場

※1：北大泉野球場は、改修工事のため令和3年1月4日から2月28日まで休場

※2：大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)は、改修工事のため令和元年5月7日から2年7月12日まで休場

## ●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、26年度から30年度まで毎年実施していた。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度に続き2年度も開催を中止した。

〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕  
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。



## 〔開催状況〕

## ハーフマラソン種目

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26	30.3.25	31.3.24
開催時天気	晴	晴	雨	晴	晴
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人	5,423人	5,433人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人	4,807人	4,764人
完走者数(完走率)	4,464人(95.5%)	4,478人(97.3%)	3,899人(97.0%)	4,510人(93.8%)	4,512人(94.7%)

## マイルラン種目

		第3回	第4回	第5回
エントリー数	中学生の部	150人	100人	58人
	小学生とペアの部	330組 660人	296組 592人	342組 684人
当日 出走者数	中学生の部	100人	83人	53人
	小学生とペアの部	約200組	269組 538人	303組 606人

注：第3回は試行実施

## ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

令和2年度に予定されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)は、新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、令和3年7～9月に開催されることとなった。

区では、東京2020大会に向けて、組織委員会や都と連携して聖火リレーやセレブレーションの開催準備を進めるとともに、区民や地域活動団体と協働で機運醸成に取り組んだ。

- (1) イベントなどにおいて東京2020大会に向けた情報を発信するとともに、節目に合わせて機運醸成事業を実施した。
- (2) 東京2020大会を区民とともに応援するため、「練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト」で集めたハンドスタンプ(手形)を使用して野見山暁治氏が制作したアート「こんな風の話」の展示を実施した。
- (3) デンマーク王国とエクアドル共和国のホストタウンとして、応援メッセージ動画を作成し両国選手団へ届けた。